

## はじめに

浜松市は、平成 21 年（2009 年）3 月に「浜松市文化振興ビジョン」を改定し、「人と人をつなぐ文化」、「都市の魅力・活力となる文化」、「生活の潤いとなる文化」を基本的な考え方として掲げ、「創造都市・浜松の実現」、「文化の多様性が活力となる都市・浜松」、「音楽の都・浜松」を基本目標に定め、市民が主体となって文化を創造し発展させていく都市、文化の持続的な循環が行われる都市を目指して様々な施策を行ってきました。

平成 25 年（2013 年）3 月に『「創造都市・浜松」推進のための基本方針』を策定し、目指す創造都市の姿や実現のための取り組みイメージを示して創造都市に対する市民の意識や関心を高めていくとともに、同年 11 月には創造的人材による文化芸術の創造、発信、交流の場として、鴨江アートセンターをオープンしました。平成 26 年（2014 年）12 月にはユネスコ創造都市ネットワーク<sup>1</sup>に音楽分野で加盟するなど、ビジョンに基づいた取り組みを着実に進めてきました。

一方、国レベルでは平成 29 年（2017 年）6 月に文化芸術振興基本法を改正した文化芸術基本法が公布、施行されるとともに、これを受けて平成 30 年（2018 年）3 月には文化芸術推進基本計画が示されました。文化芸術が持つ本質的な価値のみならず、社会的・経済的価値についても着目し、観光やまちづくり、国際交流、福祉、教育、産業その他幅広い分野へ有機的な連携を図ることが求められています。

少子高齢化及び人口減少が進み、厳しい行財政運営を強いられる中で、地域の特色を反映した文化振興施策が重要な都市戦略として機能し、都市の将来像である「市民協働で築く『未来へかがやく創造都市・浜松』」を市民が体感できるようになることを目指して、新たな「浜松市文化振興ビジョン」を策定するものです。

1 文学、映画、音楽、芸術などの分野において、都市間でパートナーシップを結び相互に経験・知識の共有を図り、またその国際的なネットワークを活用して国内・国際市場における文化的産物の普及を促進し、文化産業の強化による都市の活性化及び文化多様性への理解増進を図ることを目的に平成 16 年（2004 年）に創設されたネットワーク。浜松市は平成 26 年（2014 年）12 月に、音楽分野においてアジアで初めて加盟した。※令和元年（2019 年）10 月 31 日現在 246 都市